



マニラ首都圏地下鉄でTBM降下式

オリコンサルグローバルが施工監理

オリエンタルコンサルタン

ツグローバルが施工監理を担当する「フィリピン国マニラ首都圏地下鉄」のトンネルボーリングマシン（TBM）降下とフィリピン鉄道訓練センター（PRI）開設を記念した式典が12日に現地で開催された。

写真、同国のドゥテルテ大統領やトゥガデ運輸大臣ら政府要人とともに、同社の米澤栄二社長らが出席した。

マニラ首都圏地下鉄は、日本政府のODA（政府開発援助）資金と無償資金協力で実施されている。延長は34^{キロメートル}。2027年の開業を目指して鋭意工事が進められている。オリコンサルグローバルは、これまでに同国で複数路

線の鉄道の計画・設計・施工監理などを実施しているほか、JICA技術協力プロジェクトを通じて鉄道技術者の育成にも積極的に取り組んでいる。

今回、大統領による模擬運転が行われた運転シミュレーターは、フィリピン鉄道訓練センター設立・運営能力強化支援プロジェクトで運転士育成に活用される予定だ。

同社は、比国運輸省と緊密に連携しながら、運転シミュレーターなどの最新デジタル技術を活用して安心安全で効果的な工事の実施と、鉄道技術者の人材育成を強力に推進している。